

さいがい じしん たいふう こうずい 災害（地震、台風、洪水など）

じしん 地震

にほん せかい なか じしん おお くに
日本は、世界の中でも、地震が多い国です。

おお じしん お かぐ たお あぶ すいどう がす でんき つか
大きな地震が起きると、家具が倒れて危ないです。水道やガスや電気が使えなく
なる かもしれません。また、食べ物や、生活に必要なものが買えなくなる かもしれません。

じしん お じしん
地震は、いつ起きるかわかりません。地震のときに
こまらないように、しっかりと準備をしてください。



しんど じしん ゆ ■震度〈地震のとき、どれくらい揺れるか〉

しんど たてもの こわ たお やま じめん わ
震度7 : 建物が壊れたり、倒れます。山がくずれたり、地面が割れたりします。

しんど きょう た ある むずか かぐ たな たお うご
震度6強 : 立って歩くことができません。弱い建物が壊れたり、倒れたりします。

しんど じゃく た むずか たてもの かべ わ どあ ひら
震度6弱 : 立つことが難しくなります。建物の壁が割れたり、ドアが開かなく
なったりします。

しんど きょう ある むずか かぐ たな たお うご
震度5強 : 歩くのが難しいです。家具(棚)が倒れたり、動いたりするかもしれません。
じしん まえ こていかなぐ ぼると かぐ たお
地震の前に、固定金具(ボルトをつけて、家具を倒れないようにします)や、
たいしんねんちやくまっと かぐ した まっと かぐ たお
耐震粘着マット(家具の下にマットをはって、家具を倒れないようにし
ます)などを つか かぐ たお うご
使って、家具が倒れたり動いたりしないようにしましょう。

しんど じゃく まど がらす わ たな さら ほん お
震度5弱 : 窓のガラスが割れたり、棚の皿や本が落ちたりします。

ゆ き ■揺れたら 気をつけること

いえ
家に いるとき :

つくえ した はい あたま まも そと で
机の下などに 入って、頭を守ります。あわてて外へ 出ないでください。

そと
外に いるとき :

ぶろっくべい たお お
ブロック塀など、倒れたり落ちたりするものからはなれてください。

がっこう
学校に いるとき :

せんせい い き つくえ した はい
先生の言うことをよく聞いて、机の下などに 入ってください。

みせ でんしゃ
店・電車などに いるとき :

みせ ひと い き
あわてないで、店の人などが言うことをよく聞いてください。



■揺れが止まったら すること

地震の始まり～2分 : ドアや窓を開けて、逃げる道をつくりま

す。ガラスでけがをしないように、くつをはきます。

2分～5分、揺れの終わり : 火を消して、ガスの栓を閉めます。

家には危ないとき :

地震で家が壊れそうなときや、近くで火事が起きているときは、避難所へ行きます。

・テレビやラジオ、SNSなどで、地震について見たり聞いたりします。

・ガスの栓を閉めて、電気のブレーカーを切ります。

・非常用持ち出し品(→8ページ)を持って行きます。

台風

台風は、6月から10月ごろに日本へ来ます。台風が来ると、

強い雨が降って、強い風が吹きます。

・家の外にある飛んで行きそうなものは、家の中に入れてください。

・窓ガラスが割れるかもしれません。シャッターやカーテンを閉めてください。

・できるだけ外へ出ないでください。



大雨・洪水

たくさん雨が降ると、川の水などがあふれたり、

(洪水といいます。)家の中に水が入ってくるかもしれません。

・川の近くへ行かないでください。

・崖や山が崩れて落ちてくるかもしれません。(土砂崩れや、土砂災害といいます。)

・大雨や洪水のとき、水の高さが、膝の上まであったら、

建物の2階より上に上がってください。

・壊れた電柱や電気の線の近くに、行かないでください。



台風、大雨、洪水などのとき、注意報や警報、避難指示(「危ないので逃げてください」

というお知らせ)が出る場合があります。テレビやラジオ、SNSなどで、台風や大雨

などの情報を確かめてください。警報などが出ると、学校が休みになる場合があります。

さいがい まえ じゆん び
災害の前の 準備



さいがい あぶ ひなんじよ たし
■災害で 危ないところと、避難所を 確かめてください。

さいがい まえ いえ がっこう かいしゃ さいがい あぶ ばしよ
 災害の前に、家や学校、会社が、災害のときに 危ない 場所か

たし
 どうか 確かめてください。また、家の近くの 避難所が どこにあるか 確かめてください。

さいがい あぶ ひなんじよ ばしよ いたみし はぎーどまっぷ しら
 災害のときに 危ないところや 避難所の場所は、伊丹市のハザードマップで 調べてください。

さいがい かぞく ともだち れんらく ほうほう さいがい まえ き
 災害のときに 家族や友達と 連絡する方法も、災害の前に 決めてください。

いたみし こうずいはぎーどまっぷ いたみし ないすいはぎーどまっぷ はんれい ことば
伊丹市 洪水ハザードマップと 伊丹市 内水ハザードマップの 凡例の言葉

ことば 言葉	いみ 意味
ないすい 内水	あめ ふ みず たくさん 雨が 降って、水が あふれて、 みち たてもの 道や 建物などに たまること
こうずい 洪水	あめ ふ かわ みず たくさん 雨が 降って、川などの 水が あふれて、 みち たてもの 道や 建物などに たまること
していぎんきゆうひなんばしよ 指定緊急避難場所	さいがい じしん こうずい あぶ 災害〈地震、洪水など〉で 危ないときに、 に 逃げる ところ
じしゅひなんじよ 自主避難所	さいがい じしん こうずい あぶ 災害〈地震、洪水など〉で 危ないときに、 に 逃げる ところ (伊丹市から 避難指示〈「逃げて ください」という お知らせ〉が出る前に、 はや に つか 早めに 逃げる時、使えます。)
ぼうさいびちくそうこ 防災備蓄倉庫	じしん つか はい そうこ 地震などのときに 使うものが 入っている 倉庫
おくがいかくせいき 屋外拡声器	じしん ほか くに みさいる ちか 地震や、他の 国から ミサイルが 近づいたときに、 し すびーかー 知らせる スピーカー
すいぼうそうこ 水防倉庫	おおあめ つか はい そうこ 大雨などのときに 使うものが 入っている 倉庫
しんすい ばあい そうてい 浸水した場合に想定される すいしん 水深	あめ ふ みず たくさん 雨が 降って、水が あふれたときに、 かんが みず ふか 考えられる 水の 深さ
いじょう くいき 〇m以上の区域	みず めーとる いじょう ふか あふれた水が、〇メートル以上の 深さになる ところ
しんすいそうていくいき 浸水想定区域	あめ ふ みず たくさん 雨が 降ったとき、水が あふれて、 たまるかもしれない ところ
どしゃさいがいけいかいぐいき 土砂災害警戒区域/ ほうかい そうてい くいき 崩壊が想定される区域	あめ ふ がけ つち いし たくさん 雨が 降ったとき、崖から 土や 石が お 落ちてくるかもしれない ところ

あぶり
○アプリ： Safety tips

にほん じしん おおあめ し ひなんじょうほう あぶ に し
日本の地震や大雨のお知らせ、避難情報〈危ないときに逃げるためのお知らせ〉を
つた あぶり
伝えるアプリです。

ことば にほんご えいご ちゅうごくご かんたいじ ほんたいじ かんこくご すべいんご ぼるとがるご
言葉：日本語、英語、中国語（簡体字・繁体字）、韓国語、スペイン語、ポルトガル語、
べとなむご たいご いんどねしあご ふいりびんご ねぼーるご くめーるご
ベトナム語、タイ語、インドネシア語、フィリピン語、ネパール語、クメール語、
びるまご もんごるご
ビルマ語、モンゴル語



あぶり
○アプリ： ひょうご防災ネット

いたみし じしん おおあめ し ひなんじょうほう あぶ に
伊丹市の地震や大雨などのお知らせや、避難情報〈危ないときに逃げるための
し つた あぶり
お知らせ〉を伝えるアプリです。

ことば にほんご えいご ちゅうごくご かんたいじ ほんたいじ かんこくご すべいんご ぼるとがるご
言葉：日本語、英語、中国語（簡体字・繁体字）、韓国語、スペイン語、ポルトガル語、
べとなむご たいご いんどねしあご ふらんすご どいつご いたりあご
ベトナム語、タイ語、インドネシア語、フランス語、ドイツ語、イタリア語



※iPhone は、あめりか ほかに とうろく
※iPhone は、アメリカや、その他の国で登録された、Apple Inc. の商標です。
しょうひょう
iPhone の商標は、Apple のライセンスに基づき使用されています。
しょうひょう
※Android は、Google Inc. の商標です。

持ち出し品の準備をしましょう

地震や大雨などの災害で避難所〈危ないときに逃げる
ところ〉などへ逃げるとき、持ち出し品を持って行きます。

災害の前から、準備をしましょう。逃げるときに両手が
使えるように、リュックに入れておくといいです。



<input type="checkbox"/> ばすぽーと パスポート	<input type="checkbox"/> みず 水
<input type="checkbox"/> ざいりゅうかーど 在留カードや とくべつえいじゅうしゃしょうめいしょ 特別永住者証明書	<input type="checkbox"/> かんでんち 乾電池
<input type="checkbox"/> くすり 薬	<input type="checkbox"/> ひじょうしょく かんづめ びすけっとなど 非常食（缶詰、ビスケットなど）
<input type="checkbox"/> かね お金	<input type="checkbox"/> ふく き 服（着がえ）
<input type="checkbox"/> かいちゅうでんとう らいと 懐中電灯（ライト）	<input type="checkbox"/> たおる タオル
<input type="checkbox"/> けんこうほけんしょう 健康保険証	<input type="checkbox"/> びにーるぶくろ ビニール袋
<input type="checkbox"/> らじお ラジオ	<input type="checkbox"/> ますく マスクなど
<input type="checkbox"/> ぎんこう つうちょう きゃっしゅかーど 銀行の通帳（キャッシュカード）	<input type="checkbox"/> すまーとふぉん スマートフォン

問い合わせ先

伊丹市 危機管理室 〈電話番号 072-784-8166〉

災害の後

災害で家が壊れたとき

地震や台風、火事などで家が壊れたとき、罹災証明申請書という書類を、市役所や消
防局に出します。地震や火事などが起こってから、1か月のあいだに出してください。

どれくらい家が壊れたか調べて、罹災証明書を出します。罹災証明書があると、
税金や保険のお金が少なくなることがあります。

問い合わせ先

火事で家が壊れたとき：伊丹市消防局 警防課 〈電話番号 072-783-0242〉

地震や台風で家が壊れたとき：伊丹市市民税課 〈電話番号 072-784-8022〉